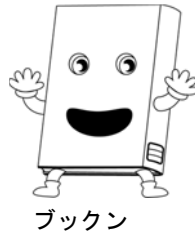


としょしつ 図書室だより



No. 10

平成 28 年 2 月 4 日

横浜市立中村小学校
校長 中川和幸
学校司書 青木美佳

たいせつなお知らせ

～今年度の本の貸し出しは 2/29(月)までです。～

こよみの上では立春！春風がふきはじめ、梅の便りも聞かれるという 2 月ですが、まだまだ寒い日が続きます。6 年生はもうすぐ卒業。図書室にきてくれた一人一人の顔を思い浮かべながら、平成 27 年度を振り返っています。

さて、今年度の図書室での本の貸し出しは、蔵書点検のため、2 月 29 日(月)で終了します。すべての本を、3 月 7 日(月)までに返却してください。ご協力をよろしく願っています。

3 月は本の貸し出しはできませんが、図書室の中で、ゆっくり本を読んでくださいね！！

2
月



2月のテーマ展示

～くらしの中、本の中にみる
命の尊さ～



東日本大震災から 5 年が経とうとしています。あの震災から私たちが学ぶことはなんでしょうか？

図書室では、～忘れない、あの日(3.11) 東日本大震災から私たちが学ぶことは？～という特設展示を行います。2014 年、2015 年の夏に実際に訪問した南三陸町・荒浜町・女川町の写真を展示します。ぜひ、私たちの“命の尊さ”について考えてみましょう。関連する本の紹介もします。

ぜひ、保護者のみなさま、地域のみなさまもお立ち寄りください。

3年生による特設展示 2/10(水)まで開催！

～3年1組 さいとうりゅうすけさんコーナー～

3 年生の国語の教科書に載っている『モチモチの木』の作者、斎藤隆介の本を、図書室の中央にパネルを設置し、本の紹介や感想を添えて、3 年 1 組のみなさんが自分たちで展示してくれました。

『三コ』『花さき山』『べろだしチョンマ』『天の笛』『八郎』『猫山』『かみなりむすめ』『半日村』『ひさの星』『ソメコとオニ』などの本が展示されています。3 年 1 組のみなさんが、どんな本を選び、その本のどんなところに心が動かされたか、その感想につながる引用文などが紹介されている感動の特設展示になっています。

クイズ「かるた」の語源はなに？

(語源とは・・・どうしてそのような名前がついたのかという理由のこと。その理由について考えてみましょう。)

- A: インドのカルカタ地方で始まった遊びだから。
- B: ポルトガルの「カルタ」からきた言葉。
- C: 「かるいうた」という日本語が変化した言葉。

さあ、どれかな・・・答えは裏面にあります。



百人一首大会が行われました。

1/26(火)・1/27(水)に行われた百人一首大会では「春の海」の琴の音が CD から流れる中、副校長先生が読みあげる百人一首(20首)のかるた遊びを、たくさんのお友達が楽しみました。



なつ きょうかしよし リーず だいじゅうだん
～懐かしい教科書シリーズ 第十弾～

『「わたし」とはだれか』 かわいほや お ぶん
河合隼雄 /文

*光村ライブラリー『わたし」とはだれかほか』より

～わたしが、今、ここにいるというのは、当たり前のことのようだが、よく考えてみると、わたしが、「わたし」としてここにいるのは、ずいぶん不思議なようにも思われてくる。いったい、「わたし」とはだれだろう。わたしがほかのだれでもなくて、「わたし」なのだというのは、どういうことなのだろう。～

・・・こんな書き出しではじまる臨床心理学者で有名な河合隼雄の文章は、私たちの心に深い問いを投げかけてくれます。ぜひ読んでみてください。

ひゃくにんいっしゅめいじん
百人一首名人をめざそう。

3月まで20首を覚えることにチャレンジしてみませんか？

図書室ではみなさんの頭の中に、「あ、それ、見たことある！」「それ、聞いたことある！」「あ、それ、知ってる！」「それ、読んだことある！」「それ、図書室にある！」というワクワク体験を増やしていきたいと思えます。

20首すべてを覚えた人には、図書室より「平成27年度百人一首名人認定証」を渡しています。

ぜひ、チャレンジしてみてくださいね。

おーぶんすぺーす
オープンスペースでは・・・

この時期とても寒い図書室のオープンスペースですが、地域の方がくださったスノーマンが、「絵本の国へようこそ」というプレートを持って、みなさんを温かく迎えてくれています。

今、図書室のオープンスペースは、絵本の国になっています。世界の絵本を国ごとに紹介していますので、ぜひお気に入りの絵本をさがしてみましよう。

3か月の作家～手塚治虫～ 1928.11.3～1989.2.9

日本初のアニメ「鉄腕アトム」や「ジャングル大帝」「リボンの騎士」などを制作しました。図書室に伝記の本があります。



く い ず ごげん
クイズ「かるた」の語源は・・・

答えは、B

かるたは、中国やインド、エジプトなどではじまったと言われていますが、日本に伝わったのは16世紀ごろと言われている。

日本独特のかるたは、「いろはかるた」ですが、「いろはかるた」は子どもたちのために生み出され、江戸時代から明治、大正時代にかけて、それを使って子どもたちが読み書きを勉強しました。遊びながら読み書きの勉強につながる“かるた”は、今もいろいろな形になって残っていますね。



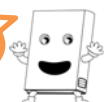
たくさん
すてきなこ
とがつまっ
てるよ！

3か月の予告！！

◆ブックンをさがせ！！

3月は本の貸し出しができないため、図書室の中では毎日おすすめの本を机の上に出しておきます。その中に、ブックンが潜んでいます。ブックンおすすめの本をぜひ読んでみてください。

ブックン



◆宮沢賢治バラバラ事件！！

6年生が国語で勉強した宮沢賢治の作品のバラバラ事件が発生するかも！？

鶯の白などにはぜひ、図書室へ足を運んでみてください。